SI-6MPRA-001-00

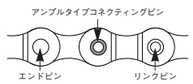
安全のために必ずお守りください。

⚠ 警告

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。
- チェーンの洗浄には中性の洗浄液を使用してください。サビ落し等のアルカリ性あるいは酸性の洗浄液を使用するとチェーンにダメージを与え、チェーン切れを起こす場合があります。
- ナロータイプチェーンは必ずアンプルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンプルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。
  アンプルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンプルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと充分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンプルタイプ コネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の様な9段対応 スーパーナローチェーン	6.5mm シルバー	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の様な8、7、6段対応 ナローチェーン	7.1mm ブラック	TL-CN32 / TL-CN27

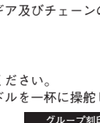
- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンプルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所で切断してください。アンプルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所で切るとチェーンを損傷します。



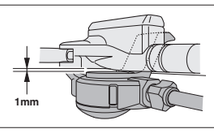
- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。伸びたり損傷があった場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。
- CN-7701、CN-HG93、CN-HG73シマノ製チェーンには9段用チェーンに対応するフロントチェーンホイールを使用してください。8段用あるいはそれ以下の段数に対応するフロントチェーンホイールに使用された場合、フロントチェーンホイールの変速不良やチェーンのピン抜けによるチェーン切れの原因になる恐れがあります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。**その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- **製品を取付ける際は、必ず取扱い説明書等に示している指示を守ってください。**調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。
- 取扱い説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。

使用上の注意

- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、作動部に注油してください。
- リンク部のガタが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。
- 定期的に変速機を洗浄し作動部（メカニズム部及びプーリー部）に注油してください。
- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短かすぎたりしていないかを確認してください。
- プーリーのガタが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プーリーを交換してください。
- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。
- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。
- ギアは定期的に中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。
- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。
- インナーケーブル内蔵式フレームでは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいため、ご使用できません。
- ギアは必ず同じグループ刻印のセットで使用し、別グループ刻印のギア板を組み合わせて使用しないでください。
- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。
- 変速ケーブル（SIS-SP41）には専用グリスを使用しています。DURA-ACEグリスや他のグリスを使用すると変速機能が低下します。
- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。
- 円滑な操作のため、SIS-SPシールドケーブル、B.B.ガイドをご使用ください。
- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。
- オイルディスクブレーキのブレーキ液の種類によってはブレーキ液が変速レバーの樹脂部分に付着した場合、樹脂部分に亀裂が入ったり変色する可能性がありますので、ブレーキ液が付着しないようにしてください。
  シマノディスクブレーキに使用されている鉱物油は樹脂部分に付着した場合に亀裂、変色の恐れはありませんが、ゴミ等の付着を予防する為にアルコールで洗浄してください。
- インジケーター部及びシフティングレバーユニットの分解はしないでください。故障の原因となります。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の劣化は保証いたしません。
- 取扱い方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。



指針動作に支障をきたす恐れがありますので、インジケーターカバー部分にブレーキレバーを押しつけないでください。



ご使用方法

SI-6MPRA-003

リアドライブシステム

機能を充分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	XT
ラピッドファイヤー（シフティングレバー）	SL-M770
アウターケーブル	SIS-SP41
リアディレイラー	RD-M771
タイプ	SGS / GS
フリーハブ	FH-M770 / FH-M775
スピード	9段
カセットスプロケット	CS-M770
チェーン	CN-HG93
B.B.ガイド	SM-SP17 / SM-BT17

この取扱い説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱い方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847 株式会社シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577

仕様

リアディレイラー

モデルナンバー	RD-M771	
タイプ	SGS	GS
スピード	9段	
トータルキャパシティー	45T	33T
リア最大ギア	34T	34T
リア最小ギア	11T	11T
フロント歯数差	22T	22T

カセットスプロケット歯数構成

モデルナンバー	グループ名	スピード	歯数構成
CS-M770	aq	9段	11、12、14、16、18、21、24、28、32T
	as	9段	11、13、15、17、20、23、26、30、34T

フリーハブ

モデルナンバー	FH-M770 / FH-M775
スピード	9段
スポーク穴数	36 / 32

この説明書ではラピッドファイヤーSL-M770をトップノーマルタイプの後変速機RD-M771と組み合わせた場合の操作方法を説明しています。逆スプリングタイプのRD-M770と組み合わせた場合は変速操作およびインジケーター表示は反対になります。

変速操作方法

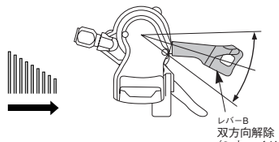
解除レバーを押しても引いても解除操作ができる2-ウェイリリース機構が備わったレバーです。
レバーA、Bとも変速完了後、指を離すと必ずレバー初期位置に戻るようになっています。レバー操作する時は必ずクランクを廻しながら行って下さい。

小ギアから大ギアへの変速（レバーA）

1段分だけ変速する場合は①の位置まで操作し、2段分変速する場合は②の位置まで操作するという具合に、変速したい段数分のストロークを操作します。

大ギアから小ギアへの変速（レバーB）

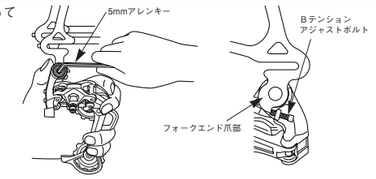
1回操作して離すと、大ギアから小ギアへ1段変速します。



リアディレイラーの取付け

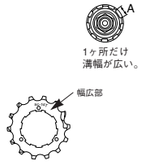
取付けの際、Bテンションアジャストボルトがフォークエンド爪部に当たって変形しないようにご注意ください。

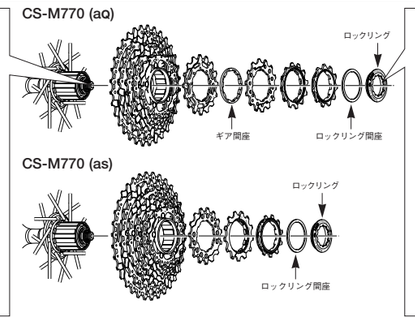
ブラケット軸締め付け トルク:
8 - 10 N·m {80 - 100 kgf·cm}



ギアの取付け

各ギアとも刻印のある面をトップ側にし、フリーホイール部のA部（溝幅が広いところ）と各ギアの幅広部を合わせてセットします。

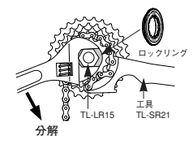




ギアの取付けは専用工具（TL-LR15）でロックリングを締め付けます。

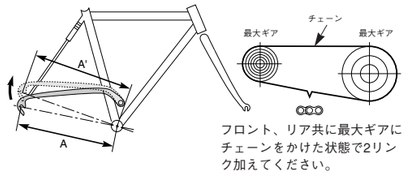
締め付けトルク：
30 - 50 N·m {300 - 500 kgf·cm}

ギアの交換は、専用工具（TL-LR15）とTL-SR21でロックリングを取り外します。



リアサスペンション付き自転車におけるチェーンの長さ

リアサスペンションが可動することにより、A寸法が変化します。このためチェーン長さが不足していると、駆動関係に異常な力が加わることがあります。
チェーン長さは、リアサスペンションが可動して A寸法が最長に伸びたところで、チェーンを前後最大ギアに掛け、2リンク加えた長さに設定してください。リアサスペンションの可動量が大きい場合、フロント最小ギアとリアのトップ側ギアでチェーンの緩みが取れないことがあります。

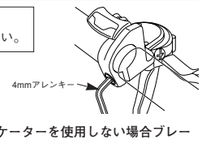


フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。

レバー部の取付け

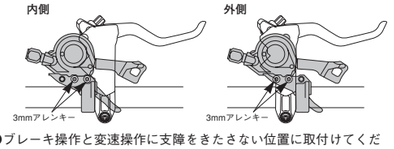
ハンドルグリップは最大外径が
φ36mm以下のものをご使用ください。

締め付けトルク:
5 N·m {50 kgf·cm}



このシフティングレバーはインジケーターを使用しない場合ブレーキレバーの内側にも外側にも取付け可能です。
位置調整をする場合はインジケーターを外し、必ず2個の固定ボルトで止め位置を変更してください。

締め付け トルク:
2.5 N·m {25 kgf·cm}



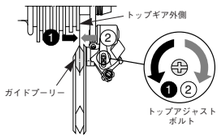
- ブレーキ操作と変速操作に支障をきたさない位置に取付けてください。
- ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合わせ使用しないでください。

- 推奨締付けトルクにおいても、カーボンハンドルの場合には、ハンドルへの損傷ならびに固定不十分となる可能性があります。適切なトルク値に関しては、完成車メーカーまたはハンドルメーカーでご確認ください。

SISの調整

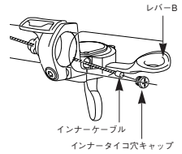
1. トップ側の調整

後方から見て、ガイドプーリーがトップギアの外側の線の上にくるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。

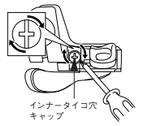


2. インナーケーブルの取付けと固定

レバーBを8回以上操作して、レバー位置がトップの位置にセットされているのをインジケーターで確認します。インナータイコ穴キャップを取り外し、ケーブルを取付けます。

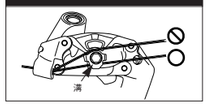


インナータイコ穴キャップを図のように止まるまでまわして、取付けてください。これ以上まわすと、キャップのネジみぞを破損します。



インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。

注意: インナーケーブルは必ず溝に添わせて固定してください。



締め付け トルク:
6 - 7 N·m {60 - 70 kgf·cm}

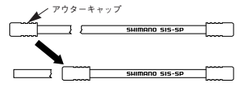
3. ロー側の調整

ガイドプーリーがローギアの真下にくるようにローアジャストボルトを回して調整してください。

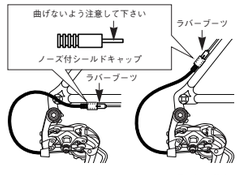
アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

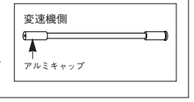
アウターケーブルキャップは、切断後も同一物を使用して下さい。



ノーズ付シールドキャップ及びラバーブーツはフレームのアウターストッパーに取付けて下さい。

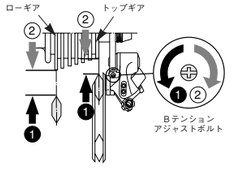


* リアサスペンション自転車等で、リアディレイラーの動きが激しい場合には、付属のアルミキャップとの交換をお勧めします。
アウターケーブルはアルミキャップがついた方を変速機側に使用してください。



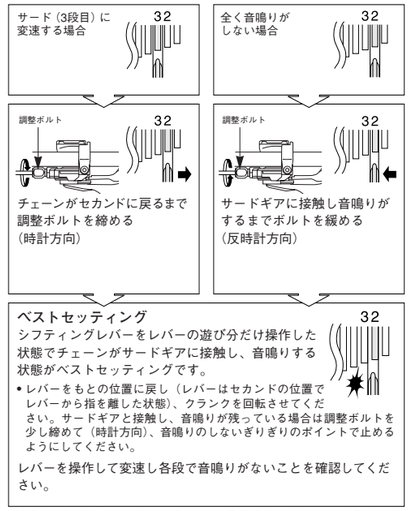
4. Bテンションアジャストボルトの調整

チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンづまりしない位置までガイドプーリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンづまりがしないことを確認してください。



5. SISの調整

シフティングレバーを1回操作して、リアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。



SISの機能を充分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

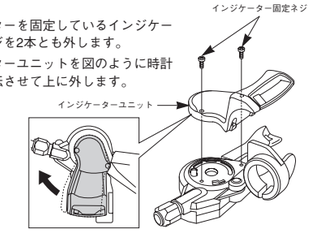
■FH-M770/M775の取扱い説明書もあわせてお読みください。

インジケーター部の交換と組立

分解及び組立は、インジケーター部の取り外しまたは交換時のみ行ってください。フロントの場合、取り外し・組立の際の回転方向と指針位置は逆になります。

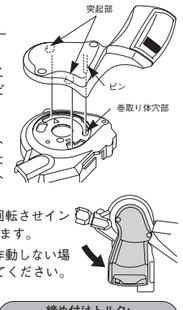
【取り外し】

1. インジケーターを固定しているインジケーター固定ネジを2本とも外します。
2. インジケーターユニットを図のように時計まわりに回転させて上に外します。



【組み付け】

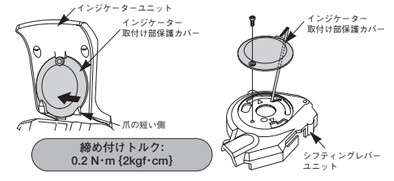
3. レバーBを8回以上操作して、レバー位置をトップにセットします。
4. インジケーター指針が左端にあることを確認し、インジケーター下のピンを巻取り体の穴に差し込んだ後に、インジケーターの突起部（2ヶ所）をシフティングレバーユニットの△印に合わせてはめ込み、図のように反時計回りに回転させてセットします。
5. インジケーターを反時計まわりに回転させインジケーター固定ネジ2本で締め付けます。
6. 作動を確認してください。正しく作動しない場合は3と4に注意して再度組み立ててください。



締め付け トルク:
0.2 N·m {2kgf·cm}

〈インジケーターを取付けない場合〉

1. インジケーターユニットにセットされているインジケーター取付け部保護カバーを図のように爪の短い方から取り外してください。
2. インジケーター取付け部保護カバーを図のように凸部を先に入れ、シフティングレバーユニットの上部にセットし、インジケーター固定ネジで締め付けます。



締め付け トルク:
0.2 N·m {2kgf·cm}